



# 株式会社UKCホールディングス

## 2018年(平成30年)3月期 第1四半期決算説明資料

---

2017年8月14日



株式会社 UKCホールディングス



# 目次



## 2018年3月期 第1四半期決算(連結)概況

事業セグメント	4
2018年3月期 第1四半期 ハイライト	5
2018年3月期 第1四半期 半導体及び電子部品事業	6
2018年3月期 第1四半期 電子機器事業	7
2018年3月期 第1四半期 システム機器事業	8
2018年3月期 第1四半期 財政状態(バランスシート)	9





# 2018年3月期 第1四半期決算(連結)概況

# 事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、パワー、その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル DDS(Dust Detection System)事業※	店舗、工場、オフィス、メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、一般企業、教育機関、医療機関、半導体製造装置メーカー、システムインテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、出入管理端末	電子決済市場、デジタルサイネージ市場、PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、太陽電池メーカー

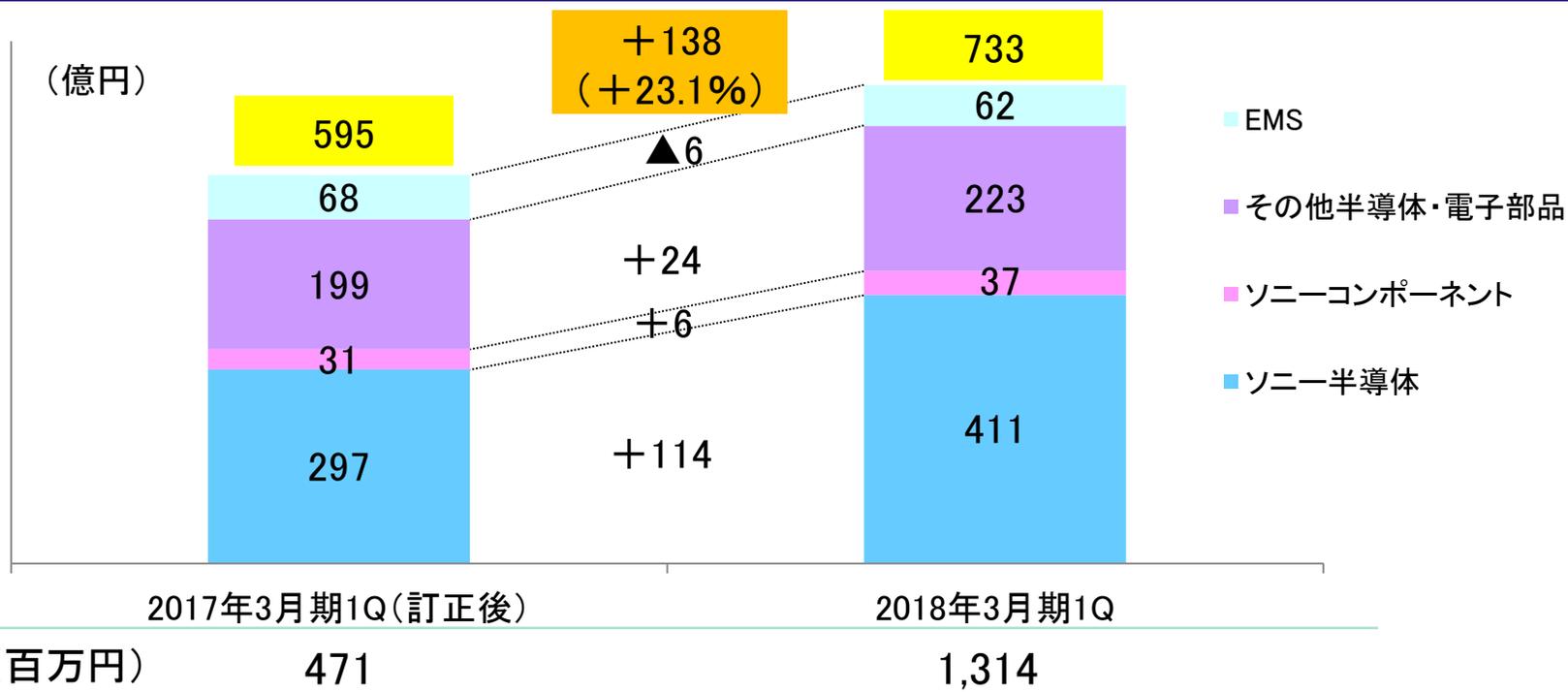
※太陽光発電における太陽光パネル表面上の汚れや温度上昇等に起因する発電効率の劣化を測定するセンサーを内蔵する機器の開発・設計・製造・販売事業と発電効率に関するデータ提供を行うサービス事業からなる

# 2018年3月期 第1四半期 ハイライト

(単位:百万円)	2017年3月期 第1Q (訂正後)		2018年3月期 第1Q		第1Q進捗率		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	2Q累計予想 (7/31公表)	進捗率	増減金額	増減率
売上高	62,558	100.0%	76,317	100.0%	156,000	48.9%	+13,758	+22.0%
売上総利益	3,333	5.3%	4,254	5.6%	8,800	48.3%	+921	+27.6%
SGA	3,126	5.0%	3,158	4.1%	6,300	50.1%	+31	+1.0%
営業利益	207	0.3%	1,096	1.4%	2,500	43.8%	+889	+429.6%
経常利益	△ 275	△ 0.4%	1,064	1.4%	2,400	44.3%	+1,340	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△ 330	△ 0.5%	630	0.8%	1,600	39.4%	+960	
EPS(円)	△ 21.06		40.14		101.93			

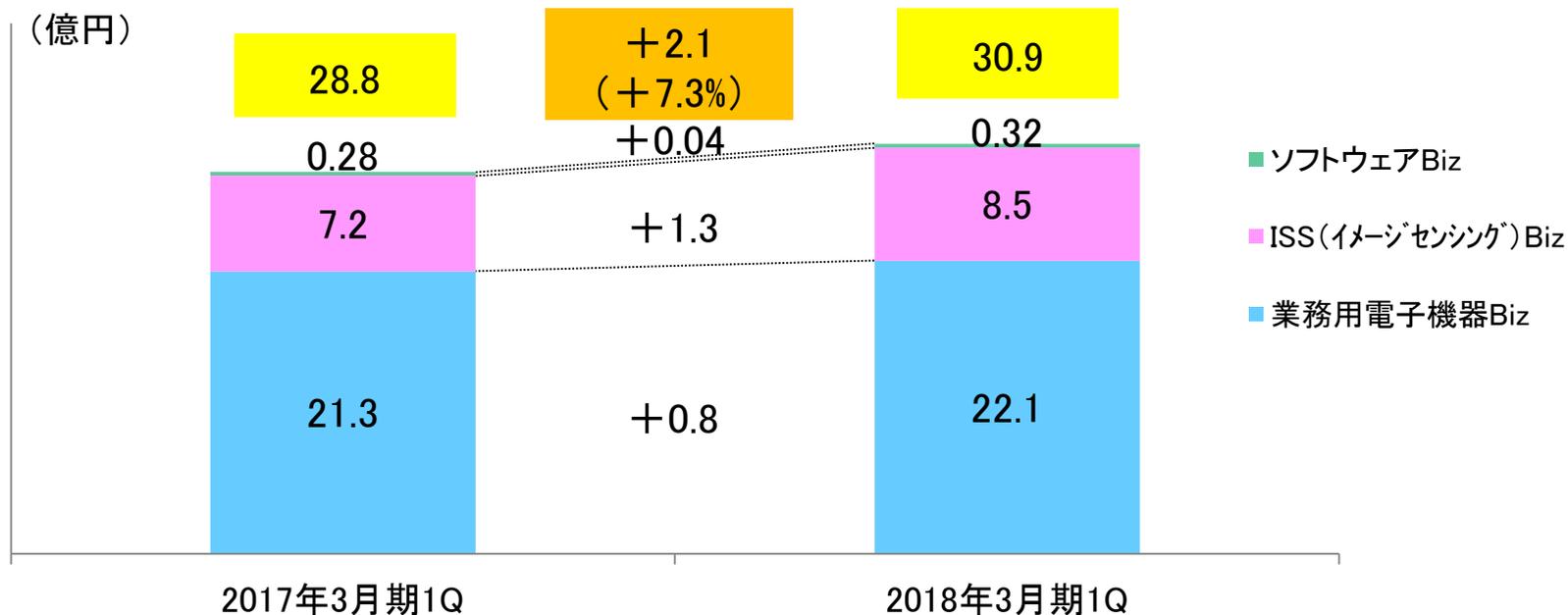
- ▶ 売上高: 前年同期比+138億円(+22.0%) 海外スマートフォン向け半導体売上が好調、国内向けは熊本地震の影響が剥離
- ▶ 売上総利益: 前年同期比+9.2億円(売上総利益率+0.3%) 増収に加え、為替安定の効果等による売上総利益率の改善もあり増加
- ▶ 営業利益: 前年同期比+8.9億円(+429.6%)
  - ・SGA: 香港の貸倒引当金繰入損は約2.3億円減も、前年同期未稼働のベトナム工場費用や売上増に伴う活動費等増加により微増
  - ・貸倒引当金については、本社(特定債権管理室を新設)、香港、シンガポールの連携により、全体の額を漸減させていく方針
  - 香港では、新しいマネジメントのもと、取引先の事業動向、財務状況の再精査を行い、当該事業のコントロールと売掛金等の回収アクションプランの立案・実行を加速。シンガポールでは、貸倒引当金を計上した取引は中止し、取引先との返済契約締結と入金フォロー
- ▶ 経常利益: 前年同期比+13.4億円
  - 営業利益増に加え、為替差損益の改善(前年同期 402百万円差損⇒100百万円差益)もあり前年同期比増
- ▶ 親会社株主に帰属する当期純利益: 前年同期比+9.6億円
  - 香港における不適切会計関連の調査費用(社内/第三者委員会調査等)の一部を過年度決算訂正関連費用として特別損失に計上(約1.8億円)。同過年度決算訂正関連費用は、7/31公表の業績予想では、SGAに織り込み(2Q累計4.5億円)

# 2018年3月期 第1四半期 半導体及び電子部品事業



- ソニー半導体: 海外スマートフォン向けイメージセンサー好調に加えて、熊本地震の影響の剥離もあり増収
- その他半導体・電子部品: 電子材料や車載向け中小型液晶等の売上が伸長
- EMS: ベトナム工場の稼働は好調も、中国スマートフォン向け需要の減速により、中国工場の稼働低下
- セグメント利益は、増収効果と利益率の向上により増益

# 2018年3月期 第1四半期 電子機器事業



セグメント利益(百万円)

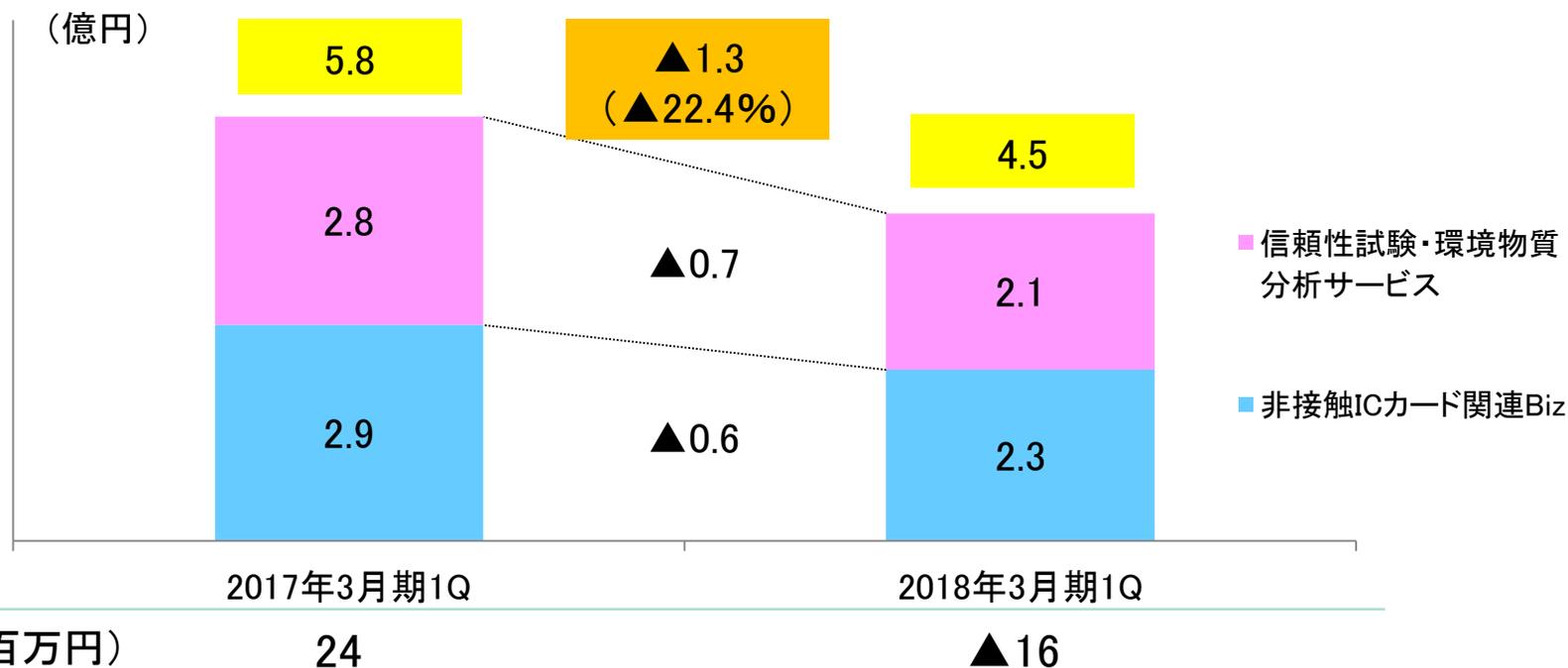
▲ 245

▲ 161

- 業務用電子機器ビジネス  
4K関連需要活性化等により増収
- イメージセンシングビジネス  
熊本地震の影響(前年同期の一部製品の調達難)が剥離
- 増収により、セグメント損失は前年同期比83百万円改善



# 2018年3月期 第1四半期 システム機器事業



## ➤ 非接触ICカード関連ビジネス

電子マネーの用途は広がっているものの、足元の需要は減速。2Qは需要回復を見込む

## ➤ 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス

車載向けの引き合いが増加しているものの、足元の需要は減速

## ➤ 減収により、セグメント損失を計上

# 2018年3月期 第1四半期 財政状態(バランスシート)



(単位:百万円)	17/3月末	17/6月末
現預金	20,076	19,103
売上債権*	76,333	74,640
棚卸資産	20,658	25,380
貸倒引当金	-11,950	-12,262
その他	11,307	10,548
<b>流動資産計</b>	<b>116,426</b>	<b>117,409</b>
固定資産計	7,811	8,063
<b>総資産</b>	<b>124,237</b>	<b>125,473</b>
仕入債務	45,562	46,222
短期借入金	32,926	35,017
1年内返済長期借入金	1,325	140
その他	4,008	3,368
<b>流動負債計</b>	<b>83,823</b>	<b>84,749</b>
長期借入金	2,300	2,300
その他	960	1,022
<b>固定負債計</b>	<b>3,260</b>	<b>3,322</b>
<b>純資産</b>	<b>37,154</b>	<b>37,401</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>29.6%</b>	<b>29.5%</b>
<b>BPS(円)</b>	<b>2,340.69</b>	<b>2,360.09</b>

※電子記録債権含む

	前期末比	主な増減要因
総資産	+1,236	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たな卸資産 +4,721百万円</li> <li>・現預金 ▲973百万円</li> <li>・売上債権 ▲1,693百万円</li> <li>・その他流動資産 ▲758百万円</li> </ul>
負債	+988	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期借入金 +2,091百万円</li> <li>・仕入債務 +660百万円</li> <li>・未払法人税等 ▲575百万円</li> <li>・1年内返済予定長期借入金 ▲1,184百万円</li> </ul>
純資産	+247	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親会社株主に帰属する四半期純利益 630百万円</li> <li>・その他の包括利益累計額の変動額 ▲325百万円</li> </ul>
自己資本比率	▲0.1%	



株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: [ir@ukcgroup.com](mailto:ir@ukcgroup.com)

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。